

ネットワークトリガーによるサービスの復 元

- 機能説明 (1ページ)
- NTSR の設定 (2ページ)
- モニタリングおよびトラブルシューティング (4ページ)

機能説明

Network Triggered Service Restoration(NTSR)機能は、S-GW で有効になっている場合に MME 障害を検出します。障害が発生した MME のサービスを受けるサブスクライバがダウンリンク データパケットを受信すると、S-GW はラウンドロビン方式で NTSR プールから代替 MME を 選択します。S-GW は、選択した MME にダウンリンクデータ通知(DDN)を送信します。このラウンドロビン方式による MME の選択は、システム全体ではなく、セッションマネージャインスタンスごとに行われます。

NTSR機能により、MME 障害発生時のネットワークにおける DDN メッセージのロードバランシングが向上します。

CUPSモードでは、復元の対象となるベアラー、対応するダウンリンクデータがユーザープレーンにバッファリングされます。復元が設定されていないベアラーの場合、対応するトラフィックエンドポイントはユーザープレーンから削除されます。

特定のPDNから専用ベアラーが保持されていることをS-GWが検出した場合、S-GWはこのPDNのデフォルトベアラーも保持します。この場合、ダウンリンクデータはデフォルトベアラーでドロップされます。

復元保留状態でダウンリンクデータ/ベアラー更新要求/ベアラー作成要求を受信すると、SGW は MME または S4-SGSN に対して DDN 要求イベントを開始します。

MMEからベアラー変更要求を受信すると、コントロールプレーンは、ユーザープレーンに Sx セッション変更要求を送信します。このとき、復元の対象となるすべてのベアラーに対して UPDATE FAR: APPLY ACTION: FORW=1 とします。

NTSR の設定

NTSR 機能には、次の設定があります。

- APN プロファイルの設定
- ピアプロファイルの設定(入力)
- NTSR プールの設定
- S-GW サービスアクセスピアマップの関連付け
- MME 復旧タイマーの設定

APN プロファイルの設定

この設定では、QCI 値と ARP 値を APN プロファイルに設定します。S-GW の入力側でパス障害が検出されると、設定された ARP/QCI 値に基づいてベアラーが保持または解放されます。S-GW では、APN プロファイルごとに最大 2 つの QCI と ARP ウォーターマークの組み合わせを設定できます。

APN プロファイルで ARP 値と QCI 値を設定するには、次のコマンドを使用します。

configure

```
apn-profile profile_name
  ntsr { all | qci qci_value | arp-priority-watermark arp_value }
end
```

注:

- ntsr: NTSR 設定を指定します。
- qci: NTSR の QCI 値を指定します。
- arp-priority-watermark: NTSR の ARP 値を指定します。
- all: MME 復元用の QCI 値または ARP 値を持つすべてのベアラーを識別します。

ピアプロファイルの設定(入力)

この設定では、ピアプロファイルはS-GWの入力側で設定されます。ピアプロファイルには、MME 障害発生後に MME/S4-SGSN プールを検出するために使用される、関連付けられたプール ID が含まれています。

次のコマンドを使用して、S-GW の入力側でピアプロファイルを設定します。

configure

```
peer-profile service-type sgw-access name name
  ntsr pool-id pool_id
  end
```

注:

- sgw-access: S4/S11 インターフェイスに対する S-GW のピアノードのプロファイルを設定します。
- ntsr: NTSR 設定を指定します。
- pool-id: MME 障害発生後に MME/S4-SGSN プールを検出するためのプール ID を指定します。 $pool_id$ は、 $1 \sim 10$ までの整数です。

NTSR プールの設定

NTSR プールの設定は、プール ID およびピアタイプに関連付けられた IP アドレスのプールを設定するために使用されます。1 つのピアタイプに1 つのプール ID を使用できます。NTSR プールに、IPv4またはIPv6アドレスを組み合わせて指定できます。S-GW は、最大 10 のNTSR プール、および最大 5 の IPv4v6 IP アドレスペアを指定して設定できます。

NTSR プールを設定するには、次の設定を使用します。

configure

```
ntsr-pool pool-id pool_id peer-type [ mme | s4-sgsn ]
      [ no ] peer-ip-address { ipv4-address ipv4_address | ipv6-address
ipv6_address }
    end
```

注:

- pool-id: NTSR プール ID を指定します。
- peer-type: NTSRプールIDピアタイプを指定します。ピアタイプはMMEまたはS4-SGSNです。
- **peer-ip-address**: MME または S4-SGSN プールの一部として IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを設定します。

S-GW サービスアクセスピアマップの関連付け

この設定では、S-GW サービスのアクセス側または入力側のピアマップが設定されます。 ピアマップを S-GW サービスに関連付けるには、次の設定を使用します。

configure

```
context context_name
   sgw-service service_name
   associate access-peer-map peermap_name
   end
```

注:

• access-peer-map: S-GW サービスのアクセス/入力側のピアマップを設定します。

モニタリングおよびトラブルシューティング

show コマンドの入力と出力

この項では、この機能のサポートにおける show コマンドおよびコマンドの出力について説明します。

show apn-profile full all

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR
 - QCI
 - ARP-priority-watermark

show apn-profile full name apn_name

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR
 - QCI
 - ARP-priority-watermark

show ntsr-pool all

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- SGW NTSR プール
- NTSR プール ID
- NTSR プールタイプ
- NTSR プール ID
- NTSR プールタイプ

show ntsr-pool full all

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR pool-id
- NTSR Pool type
- peer-address-pair(s)

show ntsr-pool full pool-id pool_id

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR プール ID
- NTSR プールタイプ
- ピアアドレスペア

show ntsr-pool pool-id pool_id

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR pool-id
- NTSR Pool type

show sgw-service statistics all

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- ピアの障害
 - 保持
 - リストア済み
 - リリース日
- ピアの再起動
 - 保持
 - リストア済み
 - リリース日

show subscribers sgw-only full all

このコマンドの出力には、この機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- NTSR state
- Bearer capable restoration

show subscribers sgw-only full all

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。